

## 目標達成計画

作成日: 平成 24年 2月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	現在置かれている家族ノート等は、全家族共通だったので、利用者の家族としては記入しづらい点があったと推察される。	利用者の方への家族の訪問を今以上に頻繁になるようにする	意見等の集約をするために、家族ノートを各居室に設置し、活発な意見を伺えるようにする	3ヶ月
2	35	震災時に食料等の備蓄は、問題なかったが、今後の増床による利用者増に不足が否めない	新施設での建築でも、震災時に活躍した太陽光パネルの設置と、緊急時の食料備蓄	施設での省エネルギー設備の導入と、レトルト食材等保存の利く食料への切り替えを図りながら備蓄の全体量を増やしていく。	6ヶ月
3	6	身体拘束排除ということで、日中の玄関の施錠も行っていない。新施設での入居に慣れるまで、玄関施錠の必要の可能性がある	新たな入居者を迎えたときにも、日中の玄関の施錠は行わない。また、職員の研修の充実を図る	自由に過ごしていただけるよう、利用者が一人で歩き出した際は、後ろから危険回避を行いながら、一緒に出かけられる体制を整える。	10ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。